「街の社員食堂」をコアとしたエリアデザイン

1. アイデアの概要

旧NHK富山放送会館跡地に「街の社員食堂」(共同の社員・職員食堂)を建て、エリア全体、多くの人に開かれた食堂として運営します。周辺で勤務する方への食堂をメインとしながらも様々なシーンで利用できる施設、職場や立場、年齢、性別、来訪目的を問わず利用できる施設とします。

この「街の社員食堂」をコアとして、周辺の往来を増やし街が活性化すること、人や情報が集い、つ ながっていくことを目指します。

2. ヒントにしたのは

「まちの社員食堂」(鎌倉市) https://kamakura-shashoku.machino.co

鎌倉に拠点を持つ企業・団体 31 社がつくった「まちの社員食堂」で、鎌倉のお店が週替わりでメニューを提供しています。働く人が集い、交流が生まれる場としての目的を持ち、一般の観光客の方も利用できます。

この「まちの社員食堂」をヒントに、エリアが市の中心地で、富山県庁などの官公庁、公園や松川、 富山城などが近隣にあることを活かしていくアイデアを考えました。

3. 施設の概要

(1) ターゲット

周辺で働く方をメインターゲットとしながらも、多くの方に広く開かれた食堂とします。

①メインターゲット			
富山県職員	富山市職員	周辺で勤務する社員・職員	取引先、来訪者
②サブターゲット			
通行人	観光客	宿泊客	近隣住民
学生	子ども	子ども連れ	お花見客者
イベント参加者	一人	団体	老若男女

(2) 建物について

- ・平屋建て、屋上の一部を屋根付きとし雨天時も利用できるようにします。
- ・東面、西面および南面はガラス張りを基調とし、各面に風除室と出入口を設置し、どの方向からも 出入りできるようにします。
- ・東面、西面および南面には建物に面したテラス席を設けます。
- ・建物の北側は業務スペースとし、厨房、搬入口、食品庫、更衣室、トイレなどを配置します。
- ・建物の周りは緑地とし、立ち寄りやすいように敷地をショートカットできる導線を作ります。
- ・県庁前公園の東側は柵の撤去や樹木の整理を行い、一体的なエリアにします。

(3) 食堂について

①営業時間

- ・平日は朝食~夕食まで提供
- ・アイドルタイムはカフェタイム営業 (ドリンクや軽食中心)
- ・土日祝は昼食および前後をカフェタイムとして営業

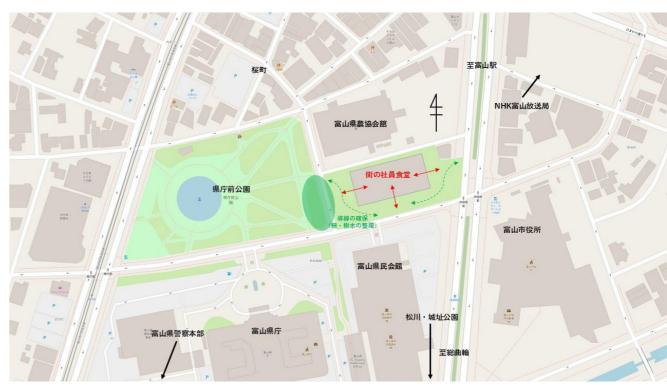
②スタイル

- ・カフェテリア形式(カウンターで各自が好きなものを選択、注文、受け取り、精算)
- ・セルフサービス形式
- ・夜はアルコール提供、団体利用も可能
- ・相席可能なテーブル席を主体とし、カウンター席、ミーティングなども可能な半個室を設置
- ・お弁当の持ち込みも可能、ただし小鉢や汁物、ドリンク、デザートなどの追加を PR
- ・離乳食の温め、ミルクづくりも可能、授乳室、おむつ替え台を設置

(3)運営

- ・企業、団体、職員組合、労働組合、個人などが資金を拠出し、法人(団体)を作り、直営または飲食関係の企業に委託します。
- ・施設はできれば民間からの出資で建設したいと考えます。
- ・出資した団体や企業の所属員、個人は割引の会員価格での提供を受けることができます。(一般利用者には一般価格で提供)

【施設の位置関係】



オープンストリートマップ https://www.openstreetmap.org/copyright/ja

4. エリア、街に与える影響

(1) プラスの影響

①働く人の生産性向上に寄与

- ・明るく開放的な空間、多彩なメニューでリフレッシュ
- ・執務する場所から歩く手間はありますが、外に出ることでリフレッシュ
- ・ブレックファーストミーティング、ランチミーティングも実施可能。職場内でのコミュニケーションが円滑になります。
- ・座ったまま昼寝ができるスペースを設けるなどで、午後も眠気知らず

②人と人、人と情報がつながる

- ・職員、社員同士のつながり
- ・他企業、他団体の人とのつながり
- 年齢を超えたつながり

子どもから、学生、現役世代、OB・OG、高齢者まで利用できます。

・消費者と生産者のつながり

県産食材を使ったメニュー、直売イベントなど県産食材の PR ができます。

・新しい情報とつながる

会員企業のPR やビジネスイベント(発表イベント、異業種交流会)を行えます。

③多くの人を呼び寄せます

・平日の昼食利用はもちろん、様々なシーンで利用できます。

打合せ、商談、社内外の懇親会、新入社員・内定者の懇親会、採用説明会、食事をしながらカジュアル面談、企業の記念パーティー、観光や買い物時の休憩、お花見時の昼食、雨宿り、雨天時の遠足の昼食会場、こども食堂、勉強会、自主勉強など

・周辺でイベントを開催する際にも利用できます。

就業者の利用の少ない土日祝には、イベントの受付や待機場所、雨天時の開催場所として利用ができます。

④周辺施設とコラボレーションすることでエリア全体が活性化します

「街の社員食堂 | ×○○

- ×サブエリア=大規模イベントの開催(雨風の影響を受けず、給排水のできる「街の社員食堂」 を調理エリアや受付・待機場所とし、県庁前公園や県庁舎、敷地内を催しものの会場や飲食スペースにしたイベントなど)
- ×飲食店=シェアキッチン(居酒屋が昼に出店、店舗開業前のお試し出店など)
- ×桜町周辺のホテル=ホテルの朝食、夕食場所として提携(バウチャーを配るなど)
- ×企業=企業スポンサードメニュー(\blacksquare ●社創業 \blacksquare ●周年記念メニュー、 \blacksquare ●社上場記念メニューなど)
- ×行政=市民とのつながり(●●知事の好物メニュー、ランチ&タウンミーティングなど)

(2) マイナスの影響と解消策

既存の給食施設・飲食店への影響

- ・既に県庁内、市役所内に食堂がある
- ⇒庁舎内にある食堂については閉店し、「街の社員食堂」に集約します。集約し、来客数を高めることで効率的な運営を行え、全体で見た便益は大きいと考えます。また、収益も追求し、働き手の賃金を高めることで、働き手不足の解消、賃金の上昇を目指します。
- ⇒遊休スペースは休憩室や書庫などに転用します。元食堂であることを活かし、災害時の食料備蓄や炊き出しなどに活用する方法もあるかと思います。
- ・周辺の施設内で営業するレストランなど
 - ⇒健全な競争は悪いことではないと思います。そのためにもできる限り、民間のお金で施設の 建設・運営を行いたいと思います。
 - ⇒プラスの影響でも挙げたように、居酒屋が昼に出店、店舗開業前のお試し出店などの取り組みを行います。

5. 収益性の確保

昼食の飲食売上がメインとなりますが、施設の維持、発展のため、利用の促進や細かな収益の積み重ねを行います。

- (1)利用の促進
- ・SNS での情報発信、会員のメールアドレスへのメニューやキャンペーン情報の配信を行います。
- ・キャッシュレス決済を行います。社員証やスマホの会員証画面での決済を行います。月次で給与支 払者に CSV データなどを提供し、請求します。利用者と運営者はキャッシュレスで便利に、給与支 払者は CSV データなどを給与計算システムに取り込むだけで処理が完了します。

(2) 収益の積み重ね

- ①飲食売上の向上
- ・職員の給与支給日、賞与支給日や年金支給日に合わせた収益性の高いスペシャルメニュー
- ・収益性の高い記念メニュー(富山県設置日、富山市制記念日など)
- ・もう一品、お弁当+一品を促す(小鉢や汁物、ドリンク、数量限定デザートなど)
- ②その他の売上
- ・広告(トレーの敷紙、箸袋、紙コップへの広告印刷、味付け海苔に QR コード印字など)
- ・メニューへのネーミングライツ
- ・企業ブース出展、チラシ配付などを有料で認める
- ・一部貸し切り(利用料の徴収または一定金額以上の食事の確約)
- ・有料パウダールーム、シャワーブースの設置(ランニング、アフターファイブ、長時間勤務時など)
- ・ミーティング時の有料備品の貸し出し

6.「街の社員食堂」をコアにさらなる発展を目指す

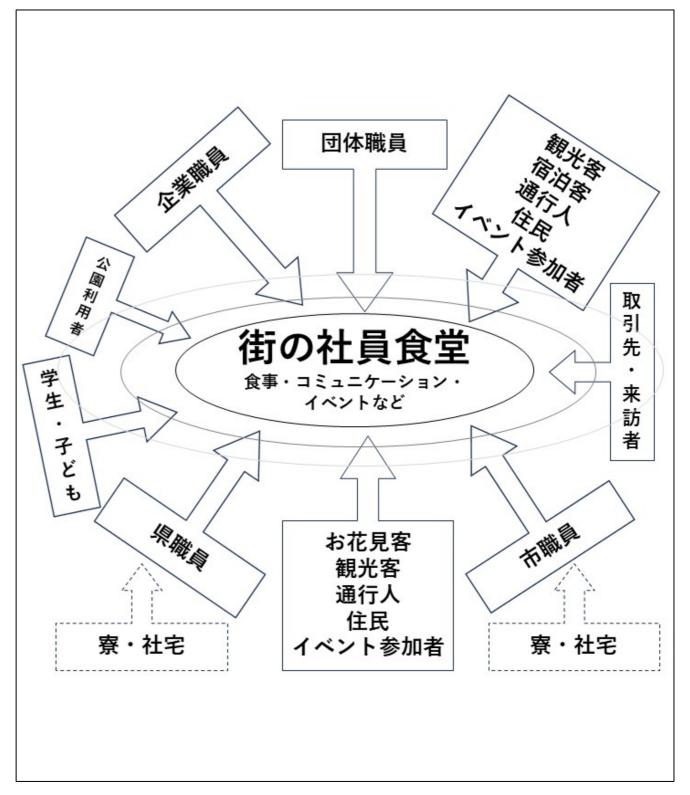
「街の社員食堂」が軌道に乗ったあとは、さらなる周辺エリアの活性化のために、企業や団体が共同で所有・運営する職員(社員)寮、職員住宅(社宅)を整備します。旧富山市立図書館本館跡地や富山第一ホテル跡地、周辺の平面駐車場などに建設、既存の「街の社員食堂」をそれら寮・社宅の食堂とパブリックスペースとして活用します。

- ・職住近接で生産性の向上、通勤時間の削減が図れます。
- ・入居者間のコミュニケーションの場となります。
- ・中心市街地の居住者を増やします。居住者が増えれば、周辺飲食店や歓楽街への人流が期待できます。
- ・徒歩、バス、市内電車を組み合わせることで、県外から赴任しても車を必要としない生活を実現でき、 公共交通機関の利用機会増加にもつながります。
- ・将来的には、より広い範囲で企業と連携を目指します。不二越エリアや富岩運河沿い、岩瀬周辺の就業者の多い工場も巻き込み、通勤バスの共同運行を行います。
- ・さらに、「街の社員食堂 | と寮・社宅があることで、新設の事業所が周辺に増える効果が期待できます。



オープンストリートマップ https://www.openstreetmap.org/copyright/ja

【「街の社員食堂」相関図】



以上